

## 第2回加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォームワーキンググループ 議事要旨

1 日時：2023年10月2日（月）午後2時から4時30分

2 場所：加茂市公民館 第1研修室

3 出席者（敬称略）

永山 光夫（加茂商工会議所 まちづくり委員会 副委員長）

堀内 大祐（加茂商工会議所 まちづくり委員会 委員）

涌井 陽（加茂市商店街協同組合（涌井金太郎商店））

萩野 正和（株式会社 conel 代表取締役） モデレーター

松井 大輔（新潟大学工学部工学科 准教授）

中丸 精一（第四北越銀行 加茂支店 支店長）

水谷 景子（第四北越銀行 加茂支店 主任）

山口 翼（第四北越銀行 加茂支店 主任）

小林 裕（加茂信用金庫 本店営業部 部長）

夏目 一寿（加茂信用金庫 総合企画部 課長）

小林 一隆（NST新潟総合テレビ 情報制作本部 デジタルマーケティング部 部長）

市川 恭嗣（加茂市 CSO）

櫻木 大輔（新潟県三条地域振興局 地域整備部 計画専門員（総括））

川崎 大一郎（加茂青年会議所 理事長）

横山 泰（新潟経営大学 地域活性化研究所 所長）

青山 准（NTT東日本 新潟支店 担当課長）

オブザーバー

宗村 真斗（JR東日本 新潟支社 企画総務部 経営戦略ユニット（地域交通・計画調整） 主任）

本間 達朗（JR東日本 新潟支社 企画総務部 経営戦略ユニット（地域交通・計画調整） 主務）

事務局：政策推進室、(株)オリエンタルコンサルタンツ

4 議事

(1) 議事内容の説明

(2) 前回までの振り返り

(3) 前年度検討成果及び今年度検討を踏まえた「未来ビジョン」のイメージ（案）について

事務局から「資料3 第2回 AP ワーキンググループ検討資料」にて、前回までの意見を踏まえたエリアの現状認識および課題、まちなかエリアのコンセプトイメージ、将来イメージについて説明した。

(4) モデレーターによるこれまでの振り返りと論点整理

前回までの議論で、まちの現状や課題についてなんとなく把握することができたと思う。今後、加茂のまちをどういうまちにしていくのか、どんな方向性でいくのか、具体的なイメージ像を作り上げる必要がある。そのイメージ像が、今後まちに必要な取組みについて考えるための物差しになる。

今後の未来をどうしていくのか考えるにあたって、加茂のまちの現状を端的に表現できるとよい。前回までの議論は多様な視点でフラットに考えていたが、これから加茂の未来を考えるにあたっては、視点ごとに濃度をつけることも必要である。

今日は、まちなかエリアの課題のうち、「加茂らしい」ものがどれであるのかを議論の中で教えていただきたい。また、どの課題に特に重点的に取り組む必要があるのかも議論したい。加茂の特徴を踏まえて課題について考えてほしい。例えば、暮らしと観光の濃度・割合をどうしていくのかは加茂が決めなければならないことの1つ。また、人が住んでいる商店街は今では非常に珍しく、加茂の特徴であるといえる。そういった特徴を考慮しながら、加茂の課題について議論してほしい。

(5) 現状認識・課題・将来イメージ・コンセプトイメージについての意見交換

【モデレーター】加茂の駅前は、暮らしと観光のどちらがメインのエリアだと思われるか。

【WG メンバー】商店街の人にとっては暮らしがメインだと思う。自身の肌感では、暮らし：観光が7：3～8：2程度だと感じる。

【WG メンバー】市内だが当該エリア外で育っている身としては、暮らしといえば西加茂のイメージがある。加茂の駅前エリアは、暮らしというよりは交通の通り道、あるいは、飲みや遊びに来る場所というイメージ。西加茂の人間からすれば観光エリアだと思う。

【WG メンバー】そもそも商店街の人は、商店街ではなく大手のドラッグストアなどで買い物している。高齢者の方がおむつを買いに来てくれるが、普通の買い物客は少ない。

【WG メンバー】加茂の人にとって「観光」はここ3～4年で出てきた意識。市民は観光というイメージをあまり持っていないと思う。

【モデレーター】現状、市民の意識としては「観光」というよりは「暮らしの中で訪れる場所」というイメージなのだと思う。観光ならば土日ということになるのか？

【WG メンバー】土日はやっていないお店が多い。

【モデレーター】それも含めて、商店街周辺は暮らしを支える場所ということか。

【WG メンバー】加茂はがっつかない、穏やかな人が多いと思う。まったりしている。

【WG メンバー】まったりしているというのはその通りだと思う。初めて来たとき、商店街が穏やかで時間がゆったり流れていると感じた。

【WG メンバー】これまで行政から手厚い支援があり、商売をがっつかなくてもやっていけるという意識が緩やかさにつながってきたのだと思う。

【モデレーター】それはよいことだと思うか、悪いことだと思うか。

【WG メンバー】一長一短だと思う。守られてきたことが、商店街が続いている背景になっていると思うし、まったりした雰囲気も嫌いではない。しかし、今後の商店街や加茂のまちがどうなっていくか考えると、このままではいけないのかもしれないとも思う。

【モデレーター】通常、商店街は「がやがや」していることが多い。加茂は商店街が騒がしくなく、山や川が近いのでぼーっとできる。商店街で心地いい過ごし方できるというのは個性だと思う。

【WG メンバー】私は新潟から来ているので外部の目線で意見したい。観光で訪れた時の印象では、駅から離れば離れるほどまったりしていると思う。暮らしと観光の比率はエリア全体で一律ではなく、駅近辺と離れたところでは少し違うのではないかな。また、新潟市と違う点として、夕方でも送迎による車の混雑がない。子どもと一緒に安心して歩くことができる。それがまったりした雰囲気につながっていると思う。

【WG メンバー】加茂は、家族連れが週末にちょっと出かけるような観光のイメージ。失礼ながら、大型連休に訪れるような観光地という印象はない。商店街を歩いていると、昔は本当に便利なまちだったのだろうと感じる。今でも、値段を気にしなければ大体のものが揃うのではないかな。暮らしが8～9割なのではないかな。

【モデレーター】概ね暮らし：観光＝7：3～8：2という共通認識ができていると思う。「暮らし」という視点で見たとき、このエリアは暮らしを十分に支えられているのか？

【WG メンバー】支えられていないと思う。子どものころと比べて、人口が大幅に減っている。このエリアに来るのは飲みに来るときくらい。だからこそ、近年、観光への意識が出てきているのではないか。外から見てみると、商店街の住民が日常の買い物を商店街でしているというのは、昔ながらのケの日常であり、羨ましく感じていた。しかし、最近ではそういった生活はなくなってきていると思う。

【モデレーター】ケの日常が観光になるという見方がある。海外の方が日本に来て、「地元の人暮らしを体験する」というツーリズムが出てきている。コロナ前の調査になるが、日本で最もお金を落としているのはイギリス人という調査結果がある。日本に数週間～1か月滞在して、日本人と同じスーパーに行って肉じゃがを作る体験をする。世界各地でそういった観光の仕方が出てきている。そういう意味では、ケの日常をしっかりと整えてあげるというのもありかもしれない。

【WG メンバー】ケの機能は弱まってきている。ケを打出していくのであれば、観光につなげるためにはどうしたらいいのかを考えなければならないと思う。また、商店街には、ハレの側面もある。ハレを加茂市内部のものにするのか、外部も巻き込むようにするのか、という視点もあるのではないか。

【モデレーター】ケをハレにすればよい。そこに住んでいる人からすれば当たり前前のケの日常であっても、外部の人から見たら感じ方が違う。そこをどう打ち出すのか。

【モデレーター】「暮らし」の街だという意識がありながら、実は暮らしを支えられていないというのは面白い。日常を支えることを重視する、暮らし：観光＝3：7に逆転するなど、方針は様々ありうる。それを決めるのがこの場であり、方針が決まれば、今まで議論してきた取組みのうち何に取り組むべきなのか判断できるようになる。

【モデレーター】コロナ禍もあり、「地域で暮らす」ことをもっと考えようという風潮が出てきている。例えば、遠くに行くのではなく近場に出かける。コロナ禍で、家の中で食事をしなければならないとき、かつての下町商店街の機能が人々の生活を支えていた。共働きや在宅ワークで商店街のお惣菜に助けられたなど、下町の商店の価値が見直された。コンパクトシティというのは単に集約しようというのではなく、「地域で消費する」「地域で生活する」という風潮を反映したのものである。

【WG メンバー】日常生活における需要に対し、商店街や駅前エリアにおける供給が不足していると思う。例えば、お惣菜やトイレットペーパーなどの日用品を買えるところが少ない。

【WG メンバー】かつては肉屋や豆腐屋が多くあり、お惣菜を売っていた。

【モデレーター】なぜなくなったのか。跡継ぎがないからか？

【WG メンバー】人口が減って近所のお客さんが少なくなったこと、店主がご高齢になったこと、両方が背景にあると思う。

【WG メンバー】加茂ナイトバザールの際、21 台もキッチンカーが来たのにも関わらず長蛇の列で、売切れも出ていた。潜在需要の現れだと感じた。

【WG メンバー】イベント時には、駐車場がなくても人を集めることはできるのだと感じる。駐車場は問題ではなく、動線があれば、潜在的な需要を引き出せるのではないかと思う。

【WG メンバー】駅前イベントがあるときは五番町に駐車している人が多い。歩いて駅前エリアまで来てくれているのだと思う。一方で、イベント時に商店街のお店を開けているが、スルーして会場に行ってしまうことは課題であると認識している。

【WG メンバー】加茂駅はまちの正面に建設された。昔は商店街の北東側に東加茂駅という駅があり、東芝の工場が付近に立地していたため、五番町や南銀座が発展した。

【WG メンバー】加茂はお祭りや花火などイベントごとが多い。しかし、加茂の人が「観光客はそんなに多くなくていい」というのを耳にしたことがある。加茂の人は、多くの人に来てほしいのか、それとも、ほどほどでいいのか。

【WG メンバー】商店街が参加しないイベントは、出店者が儲かるだけで騒音の問題など生活の支障にもなる。飲食店の経営者であれば人が集まった方がいいと思うだろうが、日用品のお店では人が集まってもうまみがないので多く来てほしいとは思わないのではないか。

【WG メンバー】観光客が商店街の客になっていないのでは。

【WG メンバー】燕では商店街のアーケードを取ったところ、商店街らしさがなくなってしまった。商店街にアーケードがないと住宅も立地しやすくなる。アーケードがあることで商店街らしさが保たれやすくなると思う。

【モデレーター】景観保全も重要な観点だということかと思う。人が来た方がいいのかは商売の仕方によって異なると思う。

【WG メンバー】花火のときになると急に人が湧いてきて、終わるとさっといなくなるのを不思議に思っている。地域内の人が見に来ているということか。

【WG メンバー】加茂ナイトバザールを継続して定期的を開催すれば、キッチンカー目当てで来た人が商店街のお店にも目を向け始めるのではないか。自分の地元にない専門店の存在に気が付けば消費につながるということはないだろうか。

【モデレーター】加茂での暮らしを整えることで、住んでいる人が笑顔で楽しく暮らしているのを外の人が見に来るということはありうらと思う。イギリスや山梨で事例がある。山梨県小菅村は、村に住んでいる人と一緒に村での生活を体験してみるという観光で話題になっている。日用品などだけでなく、ナイトバザールや花火などのイベントごとも含めて、地元の人々の生活をよりよいものにする。住んでいる人の日常を底上げする。「まったりしている」という意見があったが、それを活かして住んでいる人の日常を観光につなげるという考え方もあると思う。

【WG メンバー】ドローンで生活物資を届けているような不便なエリアで、その不便さを観光につなげていたりする。

【モデレーター】最近は「不便益」という言葉も出てきている。不便なのが逆にいいという発想。箱根に行ったとき、テレビもない宿泊施設に泊った。非日常を売ることだが非常に流行っている。日常を整えて観光を呼び込むための下地にするという考え方はあると思う。

【WG メンバー】ここまで主観的な議論をしてきたが、銀行からお越しの方々に、客観的・相対的な視点から、現状の商店街の状況を教えてほしい。

【WG メンバー】金融機関ではなく、一個人の意見として述べる。飼い犬と一緒に、天気の良い日は加茂川に、雨であればアーケードの下を歩きに来てみたいと思っている。ポテンシャルは大きいので、それを活かすために駅前やまちなかの再整備が必要かな、と思う。まちの人には「正直、商店街は期待できない」という声もあるのは事実だが、魅力のあるまちだと思う。他と比べても遜色ない。

【WG メンバー】地域資源はおっしゃる通り、他と比べても遜色ないと思う。ふらっと思える場所があるのはよい。しかし、創業件数が減ってきている。商店街でビジネスを始めても人が少なくて成立しないのでは、という声をお客様から聞いたこともある。そういう意味では、外から人を呼び込むことは課題かもしれない。

【WG メンバー】商店街でビジネスを始めた場合、それが成立するためにはどのくらいの規模の経済圏が必要か？肌感覚で構わないのでお教えいただきたい。

【WG メンバー】商店街の中に色々な機能があることが重要である。人が集まる総合力が必要だと考える。

【WG メンバー】小学生以下の児童が 100 人に満たないのは改善すべきである。観光で人を集めることで居住人口の増加につながれると思う。また、現状認識としては暮らしの比率が観光よりも高いが、それを逆転するためにイベントなどの取組みに協力できればと考えている。

【モデレーター】今は、昔に比べて色々な形態の商売が生まれており、従来通りの商売が難しくなっていると思う。逆に言えば、必ずしも加茂で商売ができないということはない。従来通りのやり方では難しいかもしれないが、何かこだわりやコンセプトがあるなど、人を惹きつけることができれば、商売はできる。上古町の事例では、立地が悪い分地価が低いため、こだわりにお金をかけることができている。SNS でそれが話題になり、交通の便が悪いところにわざわざシフォンケーキを買いに行く人がいる。そういった意味では機会が増えていると捉えることもできる。もちろん、言うは易し行うは難しであるので、創業を支援する必要がある。例えば、イニシャルコストを金銭的に支援するなどのソフト施策が必要かと思う。

【WG メンバー】加茂市商店街では、ハレの日が多くあるにもかかわらず空き店舗が増加している。8 年前と比べると、約 40%が廃業している。10 年後にはさらに空き店舗が増加することが想定される。その中で商店街を「暮らし」の支えとする必要が本当にあるのか、投資する必要があるのか。そこそこ流行る店があればなんとかなるという減り具合ではない。商店街を残す必要性が本当にあるのかということから議論すべきだと思う。また、家族に借金を残さずお店を畳むという「最高の終焉」を迎えたいというお考えの方もいらっしゃる。その方たちを再起させる必要があるのか。これから頑張りたいという方々だけを集めて特区のようなものを作り、そこだけでお店を残すという考え方も可能かと思う。まずは商店街の皆様の意識調査をした方が良いのでは。

【モデレーター】おっしゃる通りである。これから何かしたい人には仲間づくりやソフトの支援ができればよいと思う。特区化もありかと思う。そういった方々にアンケートを取ること考えられる。

【WG メンバー】「最高の終焉」を迎えた後にまちとしてはどうしていくのかも考えておかなければならない。空き家対策や事業継承への支援などを考える必要がある。

【WG メンバー】現状、店舗部分は空いても住居として利用されている建物が多い。

【WG メンバー】「最高の終焉」を迎えようとしている方々に口を出すことはできないと思う。そういった方々に何を言えばいいのか。

【モデレーター】商店街として商いを残そうという方針が決まればやることが見えてくる。方針をまず決めたい。

【WG メンバー】商店街で実際に商売をされている若手経営者のご意見が聞きたい。歴史がありつつ、今の時代に適応してマーケットを確保されている。

【WG メンバー】ある若手経営者は EC 販売より卸売りの比率の方が大きいと思う。

【モデレーター】個人的には、商店街の商いの光景を残すといいと思っているが、皆さんはどうお考えか。今日決める必要はないが、方向性として決めなければならないと思う。残すのであればそのために必要な取組み、エリアの考え方を検討する必要がある。残さない場合であればそのために必要な取組みを検討していくことになる。

【WG メンバー】先ほどの問いかけは核心をついていた。機能が低下している商店街に手を打ってどうにかしようという考え方もあれば、商店がぼつぼつ点在している住宅地としていくという考え方もある。後者であっても、にぎわいを持たせるための機能を作ることはできると思う。

【モデレーター】タワーマンションでイベントを実施することへのクレームがあったので代わりに店舗を入れたところ、クリーニング店や美容院などの暮らしに関する店舗ばかりが入り、想定とは異なる結果となった事例がある。住む人が増えれば住むための機能・環境が求められるようになる。にぎわいを作るために駅前エリアをどうコントロールしていくのかは慎重に決めなければならない。

【WG メンバー】住宅街になってしまうと周りを気にせず徘徊することはできない。

【WG メンバー】地域の内部での人の流れを考えると、西加茂からまちなかエリアに人が流れるだけでもだいぶ違うのではないかと思う。

【WG メンバー】自転車や徒歩移動の場合、西加茂とまちなかエリアをつなぐ動線がよくない。また、西加茂とまちなかエリアをつなぐ道は子どもや女性が夜に歩くには怖いと思う。西加茂からまちなかエリアに人が来ないことに関連していると思う。

【モデレーター】まちなかエリアだけで完結する考え方と西加茂から来てもらう考え方の双方がありうる。確かに今は、例えば塾帰りの子どもたちが通るには怖い道。



【WG メンバー】周辺環境について、加茂山や加茂川などの公共空間をどう使うべきか。それらの空間は、人々の生活に影響を与えず、誰の意思も問わずに活用を考えることができる。

【WG メンバー】加茂川には橋が多くかかっている。それをどう加茂山公園とつなげて活用していくのか。

【WG メンバー】加茂川が南北を分断していないのは特徴的。昔から、南北のつながりを意識して橋を架けてきたのだと思う。

【WG メンバー】川を挟んだ南北のエリア双方に配慮している様子が別の議論でも見受けられた。

【WG メンバー】元々、川の南側は加茂町、北川は上条村という異なる地域に分かれていたことが関連しているのではないか。

【WG メンバー】高校生は、駅から橋を渡って移動している。上下移動なしで移動でき、川が境界になっていないのはよいと思う。

【WG メンバー】上下移動がないがゆえに、河川空間がハレの日にしか使われないのはもったいない。ケの日にも使えるといいのでは。

【モデレーター】現状、まちなかエリアには近場の人あまり来ていない。遠くの人でも来るようなレベルで作り直すといいいのではないか。

## (6) 閉会

【事務局】誰をターゲットにまちをつくっていくのかが今後の大きな分岐点である。本日の議論では、西加茂からの視点が挙げられていたが、中心市街地に住んでいない多くの加茂市民という捉え方が可能かと思う。もし、これから観光に向かうのであれば、合意形成にかかる時間と労力が懸念事項である。その点で、地域に近い皆様のご示唆を本日得られたのは非常によかった。

☆次回会議…第2回加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム準備協議会

10/30（月） 14：00～ @加茂市役所 3階 会議室

以 上